

第4回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成23年5月25日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、大平栄子学長補佐、清水雅彦学長補佐、阿毛久芳研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長、牛山恵国文学科長代理、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長、杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育研究センター長、重原達也学生課長

欠席者：田中一利理事、相川泰総務課長

■挨拶

加藤学長よりあいさつ

議 事

1. 任教員の公募（国文学科）について

○担当より説明、審議の結果、公募内容について一部修正を加え承認。

*学科の若返りということで講師または准教授での採用をしてきているが、今回は学科の事情により経験があり国文学科の国語学を構築できる人を採用したいので、教授または准教授で公募を行いたい。書式内の担当科目を授業科目としたのは、担当科目だと専門分野のみを受け持つという印象を受けるので授業担当科目という表記とし、実際に受け持つであろう科目を記載。このことに関して授業の持ち方や表記された科目について質問が出された。

・選考委員は次回の教育研究審議会にて報告。 国文学科3名、初等教育学科・英文学科各1名

2. プロジェクト構想（案）増補改訂について

○担当より変更箇所を説明、プロジェクトCについてプロジェクト委員長より報告、承認（引き続き審議する機会を設ける）

*資料題目に増補改訂を追加し日付を5/25に変更。また各プロジェクトの各担当委員について、必要に応じて専門委員にプロジェクトに参加してもらうこととし、委員の人数を減らし機動性を持たせた。

5/24に第1回のプロジェクトC（カリキュラム改訂委員）を開催。今後は様子を見ながら水曜日の各委員会終了後、委員会開催を考えている。次回は6/1 16:00開催。

・プロジェクトCに関して委員に事務局長が入る理由。また、事務局長が委員としてどのような役割を果たすのか。

→学科長は学科としての意見を集約し、また全学的な側面から把握してもらうという役割を持つ。事務局長は教員がどのような意見を持っているか、事務局として把握しておく必要があるし、経営的な側面から見て増コマ等が可能かどうかを判断し、意見（発言）してもらうという役割であると考えている。

・プロジェクトCはプロジェクトBとも関わってくるが、教職カリキュラム問題は全学のカリキュラ

ムに大きな位置を示しているので、プロジェクトCとプロジェクトBのあり方（繋がり）について考えておく必要がある。またプロジェクトBについて、現在動いている教員養成カリキュラム委員会との関係性について、どうなっていくのか（関係委員が入っていない）という意見があった。

3. 平成 23 年度非常勤講師（国文学科：「国語学テーマ研究Ⅰ」「国語学テーマ研究Ⅲ」）採用の発議について

○担当委員より説明、審議の結果、提案通り承認。

4. 平成 23 年度非常勤講師の授業担当科目の取り消しについて

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

3 報 告

1. その他

○入学者に対し実施した TOEIC Bridge の過去 4 年間の結果について、担当委員より報告。